

企業人のための 「サービス学」講座

【サービス学会とは】

2012年の設立より、社会科学、人間科学、理工学を問わず、サービスに関わる様々な分野の研究者が集い実務家を交えた活発な交流を行っています。文理を超えた多様な専門性を持つ研究者と企業との共同研究にも積極的に取り組んでいます。 WEBサイト： <http://ja.serviceology.org/>

本講座では、それぞれの専門性からサービス学を探究する研究者が登壇し、アカデミックの知見をわかりやすく学ぶとともに、その知見を企業活動にどのように活かせるのかを企業でのサービス改革プロジェクトの経験豊富なコーディネーターが紐解きながら、参加者との議論を通じてサービスに対する気づきを深めます。本講座は、サービス研究の取り組みに新たに触れるきっかけにさせていただきたいという思いから、なるべくご参加しやすい形にしています。初めての方もぜひ積極的にご参加ください。

- 日程／プログラム 各回とも16:00～18:00の対面開催（およそ時間の半分で講義、半分で議論）
回ごとの参加も可。初回と最終回は希望者で懇親会を予定（費用別途）
※ 各回テーマは昨年度と同様です。初めての方歓迎いたします。

日程	テーマ（案）	講師
第1回 2025年 10月7日(火)	サービス学とは何か ～サービスビジネスに科学を実装する	産業技術総合研究所 フェロー 持丸 正明 氏 
第2回 2025年 11月5日(水)	サービスシステムの価値と 人的資本経営	産業技術総合研究所 人間社会拡張研究部門 副研究部門長 竹中 毅 氏 
第3回 2025年 12月22日(月)	データサイエンスが切り拓く サービス経営	東京理科大学経営学部・ 大学院経営学研究科 教授 理事 椿 美智子 氏 
第4回 2026年 1月21日(水)	工学からサービス学へ ～サービスエクセレンスに組織で挑む	東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター准教授 原 辰徳 氏 

各回コーディネーター： サービス・サイエンティスト 松井 拓己 氏 

■ 会 場 東京大学（本郷キャンパス）工学部14号館

3階330号室（第1回、第3回、第4回） / 1階142講義室（第2回）

■ 対 象 企業等の実務家 15名程度

■ 参加費 全4回 10,000円、各回参加の場合は1回あたり 5,000円（いずれも消費税込）

※ 支払方法はクレジット決済（対応ブランド：VISA、Master、JCB）のみ。申込時の登録メールアドレスに請求書とカード決済のリンクを送ります。申込後のキャンセル・返金は承ることができませんのでご注意ください。

お申込みフォーム

<https://forms.gle/RcxfFkzCMuQrzKGX8>

※ お申込み期限：全4回 10月2日(木)まで 各回参加 開催3営業日前まで

※ お問い合わせ先：サービス学会事務局 seminar-sec@serviceology.org

■ 講師・コーディネーターからのメッセージとプロフィール

持丸 正明 氏 産業技術総合研究所 フェロー／サービス学会 副会長

サービス学は、人や社会にとっての価値を生み出すサービスとは何か、という根源的な問いに答える学問であるとともに、実社会のビジネスでの価値向上、生産性向上、デジタル技術に基づく新たなサービスのデザイン方法論などを含む分野です。学術的な視点や枠組みがビジネス改善のヒントになると思います。



1993年 慶應義塾大学院博士課程生体医工学専攻修了 博士（工学）。1993年 通商産業省工業技術院生命工学工業技術研究所 入所、2010年 デジタルヒューマン工学研究センター長／サービス工学研究センター長（兼務）、2015年 産業技術総合研究所 人間情報研究部門長、2018年 産総研柏センター内に人間拡張研究センター設立 研究センター長。2023年よりフェロー。専門：人間工学、バイオメカニクス、サービス工学、人間機能・行動の計測・モデル化、産業応用研究。

竹中 毅 氏 産業技術総合研究所 人間社会拡張研究部門 副研究部門長

データ駆動型の経営が注目される中、実際のデータからサービスの価値をどのように評価し、また異なる価値に変換できるか、皆さんと議論ができることを楽しみにしています。



2002年 神戸大学大学院文化学研究科博士課程修了 博士（学術）。2002-2009年 東京大学人工物工学研究センター（研究員、助手、特任准教授）。2009年 産業技術総合研究所入所。同所にて2009年 サービス工学研究センター研究員、2017年 人間拡張研究センター 研究チーム長、副研究センター長、2025年より現職。一橋大学大学院ソーシャルデータサイエンス研究科教授、京都大学経営管理大学院特別教授。専門：サービス工学、認知心理学。

椿 美智子 氏 東京理科大学経営学部・大学院経営学研究科 教授 理事

顧客はどのような気持ちでサービスを購入したり、利用したりして、人生の満足感を得ているのでしょうか？データサイエンスによって導けるサービス研究の成果を基に、皆で、議論しませんか？



1989年 東京理科大学大学院 工学研究科経営工学専攻 博士課程単位取得満期退学（1990年博士（工学））。1989年電気通信大学 電子情報学科 助手、1999年 同大学システム工学科講師、2001年 同 准教授（助教授）、2012年 同大学院 情報理工学研究科 教授、2021年 東京理科大学 経営学部経営学科 教授、2022年 同学部長・大学院経営学研究科長、2025年 学校法人東京理科大学理事。専門：感性情報学（顧客の感性測定）、社会システム工学・安全システム（ユーザー体験、サービスイノベーション、データサイエンス）、商学（消費による幸福感、マーケティング・データサイエンス）。

原 辰徳 氏 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 准教授

優れたサービスづくり（組織能力）の国際標準、サービスエクセレンス（ISO23592等）について学びます。企画・開発に目が向きがちですが、それを実現する能力体系を知り、両面から立ち向かいましょう。



2009年 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻 博士課程修了。博士（工学）。同大学助教、講師、准教授などを経て2022年より現職。同大学 総括プロジェクト機構「QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄附講座 特任准教授 兼務。2018年より、優れたサービス、サービスエクセレンスの国際標準化活動に携わり、2021年に経済産業省 産業標準化事業表彰（産業技術環境局長賞）を受賞。放送大学ラジオ授業科目「サービスサイエンス(23')」主任講師。専門：設計・システム、ものづくり、接客、観光情報などをキーワードとしたサービス工学。

松井 拓己 氏 サービス・サイエンティスト（各回コーディネーター）

「ビジネス実践でどう役立てるのか」という観点にこだわって、受講者の皆さんと一緒にサービス事業の伸びしろを見出す議論ができることを楽しみにしています。



サービス改革の専門家サービス・サイエンティストとして、業種を問わず様々な企業を支援。企業の社外取締役、国・自治体の外部委員、東京工業大学サービスイノベーションコース非常勤講師、サービス学会理事、埼玉県生産性本部理事なども務める。株式会社ブリヂストンで事業開発プロジェクトリーダー、ワクコンサルティング株式会社（平均年齢62歳170人）の副社長およびサービス改革チームリーダーに従事した後、現職。代表著作『日本の優れたサービス』『同2』『価値共創のサービスイノベーション実践論』